

10月28日(水)~11月26日(木) 満月セレクト

— 今回のセクター ご紹介 —

Music Selector : 加藤 円夏



加藤 円夏

ロンドン在住経験を生かし、通訳、翻訳、テレビのリポーターを経て、現在はInter FM 毎週日曜15時から生放送の「LHR - London Hit Radio-」でUKの音楽、文化を英国人DJガイ・ペリマンと共にお届け中。80年代ユーロビート、90年代ソウル、アシッドジャズ、ヒップポップと共に育つ。趣味は、ヨガ、キックボクシング、音楽を聴きながらのお菓子作り。

今回のセレクトCD

1.



Mary Davis Jr / New Day (Sweet Soul Records / WVM 03052012)

ハートウォーミングでhappyな一枚。シルキーで知的、そして大らかな、ヴァイオリニストとしてのキャリアも持つ実力派オランダの歌姫の歌声が安心感をもたらしてくれます。4、5、6曲目が、個人的に大好きです。

2.



Hyleen Gill / U&I (Sweet Soul Records / SSRI-0087)

甘くスパイシーなフランスのネオ・ソウル。ジャミロクワイを手がけたプロデューサー、GOTTAの秘蔵っ子。11曲目にはファレルもボーカルに入って大ヒットした、ダフト・パンクの「GET LUCKY」の絶妙なカバーも収録。全曲オススメです。

3.



Ayo / Ticket To The World (Motown France / 375 762 0)

ポジティブで凜とした歌声。アヨは、ナイジェリアの Yoruba 語で「喜び」を意味します。ギター片手に世界を旅した、ジブシーの血を受け継ぐ実力派、3曲目がオススメです。

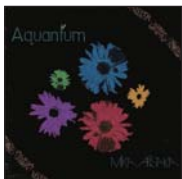
4.



Banks / Goddess (Harvest / UICC-10016)

R&B、オルタナティブ、エレクトロが混在する、切なく空間的なサウンド。歌手であり詩人、そしてピアニストである彼女の世界観に一瞬で引き込まれる一枚。1曲目から14曲目までの流れが秀逸です。

5.



Mika Arisaka / Aquantum (Jazzy Sport/Knife Edge / PCCA-02689)

単身渡米後、ボストン、パークリー音楽院で学びLLクールJと共演、Jazztronikのメインボーカルも務めた実力派。特にオススメは、DISC1収録の14曲目、とっもしなやかで力強いです。